

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-174021

(43) 公開日 平成10年(1998)6月26日

(51) Int.Cl.⁶

識別記号

F I

H 0 4 N 5/64

5 2 1

H 0 4 N 5/64

5 2 1 P

H 0 5 K 5/02

H 0 5 K 5/02

E

審査請求 未請求 請求項の数11 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号

特願平8-326293

(22) 出願日

平成8年(1996)12月6日

(71) 出願人 000006611

株式会社富士通ゼネラル

神奈川県川崎市高津区末長1116番地

(72) 発明者 清水 裕之

川崎市高津区末長1116番地 株式会社富士

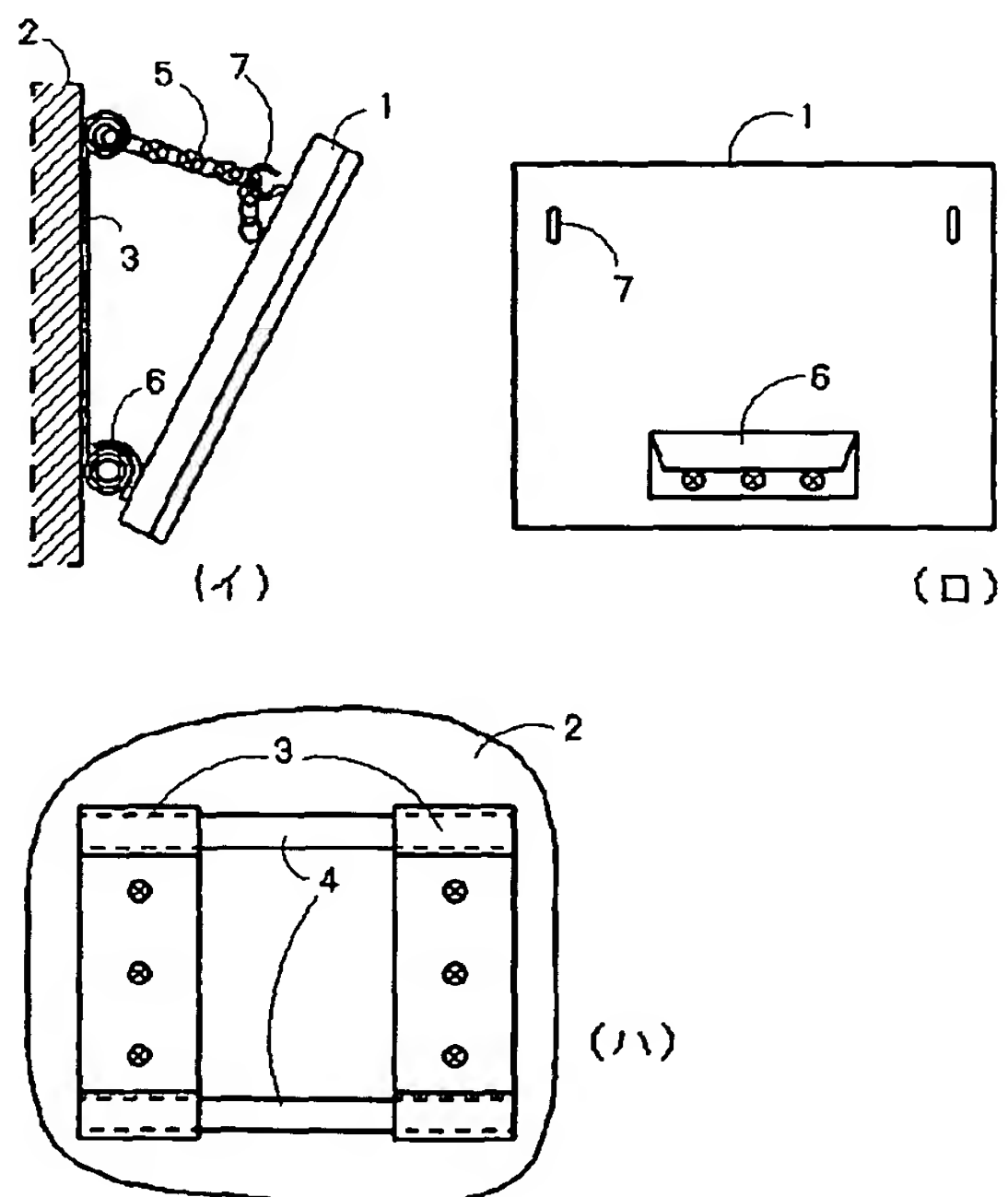
通ゼネラル内

(54) 【発明の名称】 壁掛けテレビ取付け装置

(57) 【要約】

【課題】 角度調整可能で小型簡便な壁掛けテレビ取付け装置を得る。

【解決手段】 予め、パイプ4を円筒状の上下部に設けた係止部に挿通して板状ベース3をねじ止め等で壁面2に固定する。ひも状部材5、例えば、鎖など、を平面テレビ1 (パネル) 背面の、例えば、右側のフック7に係合し、鎖の一端を板状ベース3の上部に取付けたパイプ4の孔に挿通し他の端部から取り出して、例えば、左側のフック7に係合する。一方、平面テレビ1の背面に設けた横断面ほぼJ字状の軸支部6を板状ベース3の下部に取付けたパイプ4に軸支する。パネルの壁面への取り付け角度はフック7に係合する鎖の輪の位置を変えて自在に調整する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 上下端にほぼ円筒状の係止部を備えた一対の板状ベースと、前記板状ベースの係止部に挿通するパイプと、前記パイプに軸支するための表示パネルの背面下部に設けた軸支部と、前記表示パネル背面の上部の左右に設けた一対のフックと、前記一対のフックと板状ベースの係止部とに張り渡したひも状部材とで構成し、前記板状ベースを壁面に固定し、下部のパイプを介しパネル背面の軸支部を軸支すると共にパネル背面のフックを板状ベースの係止部からのひも状部材により張り渡し、取り付けようとした壁掛けテレビ取付け装置。

【請求項2】 上記板状ベースを壁面にねじ止めで取り付けることをことを特徴とした請求項1記載の壁掛けテレビ取付け装置。

【請求項3】 上記板状ベースを板金で構成した請求項1記載の壁掛けテレビ取付け装置。

【請求項4】 上記板状ベースの上下端の円筒状の係止部毎にパイプを挿通し、ひも状部材を同パイプに挿通して張設するようにした請求項1記載の壁掛けテレビ取付け装置。

【請求項5】 上記ひも状部材を鎖で構成した請求項1記載の壁掛けテレビ取付け装置。

【請求項6】 上記ひも状部材を平ひもと、留め具とで構成した請求項1記載の壁掛けテレビ取付け装置。

【請求項7】 上記軸支部を、前記パイプ外形にほぼ等しい円弧を有する横断面ほぼ逆J字状とする請求項1記載の壁掛けテレビ取付け装置。

【請求項8】 上記軸支部を、前記パイプ外形にほぼ等しく180度より大である円弧を有する横断面ほぼh字状とした請求項1記載の壁掛けテレビ取付け装置。

【請求項9】 上記軸支部を、前記パイプ外形にほぼ等しい円弧を有する横断面ほぼh字状とする請求項1記載の壁掛けテレビ取付け装置。

【請求項10】 上記軸支部を、前記パイプ外形にほぼ等しい円周を有する横断面ほぼ逆6字状とする請求項1記載の壁掛けテレビ取付け装置。

【請求項11】 上記軸支部を、前記パイプ外形にほぼ外接し、横断面が下向き開口のコ字状とする請求項1記載の壁掛けテレビ取付け装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、例えばPDP（Plasma Display Panel）等の、薄形軽量なテレビを角度自在に壁面に取り付けるための壁掛けテレビ取付け装置に関する。

【0002】

【従来の技術】PDP等を利用した平面テレビは薄形で場所をとらず、かつ軽量である特徴を有するので様々の設置形態で利用可能である。特に、薄形の特徴を最大限に生かす壁面取付け形態、所謂、壁掛けテレビは、他の

表示装置にない特徴であり、部屋等のスペース有効利用に役立つ。

【0003】従来、この壁掛けテレビを実施するため、例えば、平面テレビの背面に固定された一対の取付け金具を、壁面に固定された箱状のベース金具にねじ止めにより取付ける等の構成を必要とした。この構成のベース金具の外形は前方から見て平面テレビに隠れる程度のやや大きいものとなる。

【0004】ところで、PDP等を良い画質で見ると、画面をほぼ垂直に見るようにする。そこで、取付け角度を調整するためのチルト機構を前記ベース金具及び取付け金具に設け、所要角度の傾斜状態で壁面などに設置するようにしている。

【0005】しかし、従来のベース金具及び取付け金具にチルト機構を備えるようにすると、例えば、前記箱状のベース金具の厚みが大きくなり、平面テレビ全体の壁面からの厚みが大きくなる問題があった。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】本発明は上記問題点に鑑みなされたもので、取付け角度が調整できかつ、小型で簡便な壁掛けテレビ取付け装置を提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、上下端にほぼ円筒状の係止部を備えた一対の板状ベースと、前記板状ベースの係止部に挿通するパイプと、前記パイプに軸支するための表示パネルの背面下部に設けた軸支部と、前記表示パネル背面の上部の左右に設けた一対のフックと、前記一対のフックと板状ベースの係止部とに張り渡したひも状部材とで構成した。

【0008】また、上記板状ベースを壁面にねじ止めで取り付け構成とした。

【0009】また、上記板状ベースを板金で構成した。

【0010】また、上記板状ベースの上下端の円筒状の係止部毎にパイプを挿通し、ひも状部材を同パイプに挿通して張設するようにした。

【0011】また、上記ひも状部材を鎖で構成した。

【0012】また、上記ひも状部材を平ひもと、留め具とで構成した。

【0013】また、上記軸支部を、前記パイプ外形にほぼ等しい円弧を有する横断面ほぼ逆J字状とした。

【0014】また、上記軸支部を、前記パイプ外形にほぼ等しく180度より大である円弧を有する横断面ほぼh字状とした。

【0015】また、上記軸支部を、前記パイプ外形にほぼ等しい円弧を有する横断面ほぼh字状とした。

【0016】また、上記軸支部を、前記パイプ外形にほぼ外接し、横断面が下向き開口のほぼコ字状とした。

【0017】

【発明の実施の形態】以上のように構成したので、壁面

に固定した板状ベースに取付けたパイプでパネル背面の軸支部を軸支しかつパネル背面のフックを板状ベースの係止部にひも状部材により懸架することにより、パネルを角度自在に壁面に取り付けるようにした。

【0018】

【実施例】以下、本発明による壁掛けテレビ取付け装置について、図を用いて詳細に説明する。図1は本発明による壁掛けテレビ取付け装置の表示パネル取付けイメージを示す斜視図である。1は、例えば、PDP（Plasma Display Panel）等の表示パネルを用いた平面テレビである。2は部屋等の壁面である。3は上下端にほぼ円筒状の係止部を備えた一对の板状ベースであり、例えば、板金、プラスチック等で作成する。4は、前記板状ベース3の係止部に挿通するパイプであり、図1のように、上部及び下部の少なくとも下部の係止部に挿通する。5は前記平面テレビ1の背面のほぼ左右上方部に設けた一对のフック7と前記板状ベース2の係止部とに張設するひも状部材、例えば、鎖等である。

【0019】本発明による壁掛けテレビ取付け装置の壁面へのパネル取付け動作を図1、図2に従い説明する。尚、図2は本発明による壁掛けテレビ取付け装置の、壁面へのパネルの取付け状態を示す側面図（イ）と、表示パネル背面図（ロ）と、壁面への板状ベースの取付け状態を示す正面図（ハ）とである。図2（ハ）に示すように、予め、パイプ4を円筒状の上下部に設けた係止部に挿通して板状ベース3をねじ止め等で壁面2に固定する。図2（イ）、（ロ）に示すように、ひも状部材5、例えば、鎖など、を前記平面テレビ1（パネル）背面の、例えば、右側のフック7に係合し、鎖の一端を板状ベース3の上部に取付けたパイプ4の孔に挿通し他の端部から取り出して、例えば、左側のフック7に係合する。一方、図2（イ）、（ロ）に示すように、平面テレビ1の背面に設けた横断面ほぼ逆J字状の軸支部6を板状ベース3の下部に取付けたパイプ4に軸支する。尚、平面テレビ1（パネル）の壁面への取り付け角度はフック7に係合する鎖の輪の位置を変えて自在に調整する。

【0020】図3は本発明による壁掛けテレビ取付け装置のひも状部材の他の実施例であり、留め具を装着した平ひものを示す図である。この平ひも5cを上述の鎖と同様に使用する。但し、壁面への取り付け角度はフック7に係合する平ひもの輪5aの位置を留め具5bで変えて自在に調整する。

【0021】図4は本発明による壁掛けテレビ取付け装置の軸支部の他の実施例を示すパネル背面図（イ）、同側面図（ロ）及び、その他の実施例（ハ）、（ニ）、（ホ）を示す要部側面図である。なお、図1、2と同一の個所は同じ番号を付し、重複説明を省略する。6aはパイプ外形にほぼ等しい円周を有する円筒を備えた、例えば、横断面状がほぼ逆6字状の軸支部である。この円筒状の軸支部6aを板状ベース3の下部に取付けたパイプ4

に軸支する。また、他の実施例（ハ）において、6bは前記パイプ外形にほぼ等しい円弧を有する横断面ほぼh字の軸支部である。また、他の実施例（ニ）において、6cは前記パイプ外形にほぼ等しく180度より大である円弧を有する横断面ほぼh字状の軸支部である。また、他の実施例（ホ）において、6dは前記パイプ外形にほぼ外接し、横断面が下向き開口のほぼコ字状の軸支部である。

【0022】

【発明の効果】以上説明したように、本発明は取付け角度が調整できかつ、小型で簡便な壁掛けテレビ取付け装置を提供する。従って、従来のチルト機構を備えたベース金具及び取付け金具を使用したときに平面テレビ全体の壁面からの厚みが大きくなる問題を解決できるメリットがある。また、一对の板状ベースはパイプを挿通して組み立てる構造であり、分解状態では小型であり収納、運搬しやすい。また、軸支部がパイプを軸支する構造であり、かつ、鎖等でパネルを懸架するのでパネルの取付け角度の調整が簡易にできる。装置が簡便であり低廉であるメリットがある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明による壁掛けテレビ取付け装置の表示パネル取付けイメージを示す斜視図である。

【図2】本発明による壁掛けテレビ取付け装置の、壁面へのパネルの取付け状態を示す側面図（イ）と、表示パネル背面図（ロ）と、壁面への板状ベースの取付け状態を示す正面図（ハ）とである。

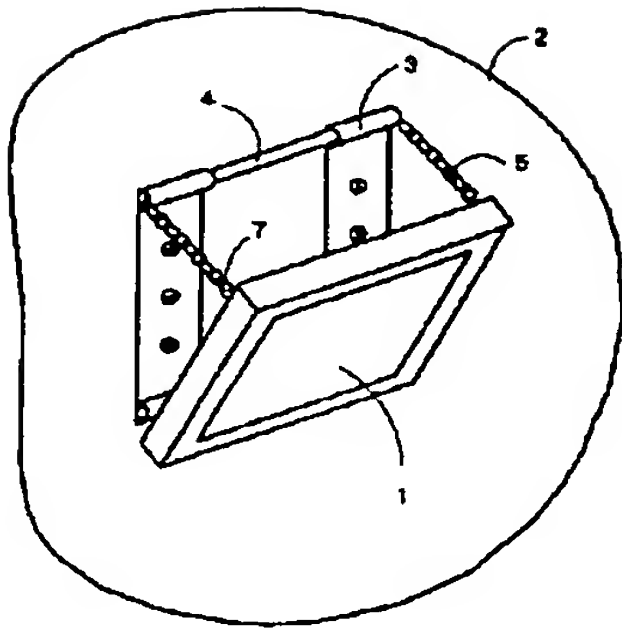
【図3】本発明による壁掛けテレビ取付け装置のひも状部材の他の実施例であり、留め具を装着した平ひものを示す図である。

【図4】本発明による壁掛けテレビ取付け装置の軸支部の他の実施例を示すパネル背面図（イ）、同側面図（ロ）及び、その他の実施例（ハ）、（ニ）、（ホ）を示す要部側面図である。

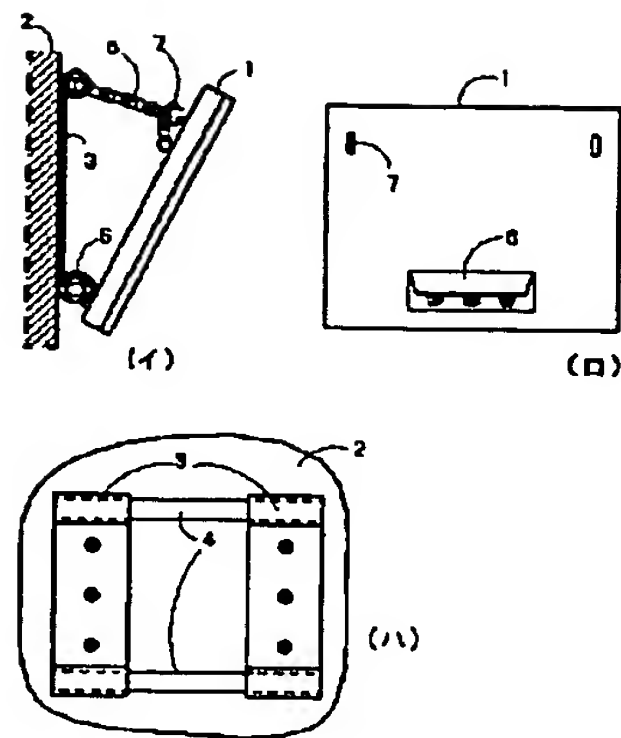
【符号の説明】

- 1 平面テレビ
- 2 壁面
- 3 板状ベース
- 4 パイプ
- 5 ひも状部材
- 5a 平ひもの輪
- 5b 留め具
- 5c 平ひも
- 6 逆J字状の軸支部
- 6a 逆6字状の軸支部
- 6b h字の軸支部
- 6c h字状の軸支部
- 6d コ字状の軸支部
- 7 フック

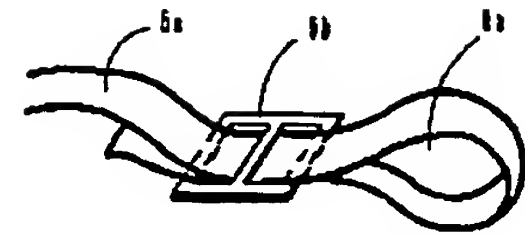
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

